

KEIWA COLLEGE REPORT

敬和学園大学と地域社会を結ぶコミュニケーション誌
敬和カレッジ・レポート

第67号 July 2011

発行/敬和学園大学後援会 敬和学園大学広報委員会



Close up

「敬神愛人の志」 理事長 大宮 博

大きく育て新入生「入学式、新入生オリエンテーション」

被災者支援チーム「Keiwa HOPE」を結成!

まちカフェりんく/オープンキャンパスのご案内

後援会総会のご報告/新任教員のご紹介

敬和学園財務状況等のご報告



枠を越えた交流の場 「スポーツ大会」

敬和学園大学で1年に1度のスポーツの祭典、それが「スポーツ大会」です。日ごろ体育会系クラブで鍛えている、また腕に覚えのある、あるいは単にスポーツの大好きな学生の皆さんと、日ごろの運動不足を解消しようという教職員など100名以上が集まり、一日いい汗を流しました。

今年は、ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、テニス、卓球の6種目が行われ、それぞれがひたむきな姿勢と笑顔で、敵味方、学年、教職員などの枠を越えた交流を深めていました。

もくじ CONTENTS

Close up	1
「敬神愛人の志」 理事長 大宮溥	
入学式・新入生オリエンテーション	4
「よく学び、よく遊び」 資格特待生 小日山兼太	
「自分らしさを大切に」 スポーツ特待生 小林亜沙未	
被災者支援ボランティアチーム「Keiwa HOPE」 …	6
スローでつなぐ まちカフェ・りんく	6
社会福祉士国家試験への取り組み	7
「阿賀北口マン賞」 作品を募集します	7
オープンキャンパス、好評開催中!	8
2011年度 後援会総会のご報告	9
新任教員のご紹介	10
「違った角度から見る歴史」 国際文化学科 藤野豊	
「英語の果たす価値」 人文学部 エイドリアン・ワグナー	
池上彰氏、来る! 同窓会主催講演会を開催	11
同窓会リレー・エッセイ⑩	12
「ひき出し、ひき出される力」 船山裕美 (15期生)	
キャンパス日誌 (4月~6月)	13
敬和学園財務状況等のご報告	14

〈表紙写真〉
新入生オリエンテーションでの
ブラインド・ウォーク体験



敬神愛人の志

この度、二〇年にわたって敬和学園の理事長をお勤めくださった後宮俊夫先生の後任に就任しました、大宮溥です。四三年前に敬和学園が発足したとき、わたしは新潟市にある日本基督教団東中通教会の牧師としてその創立に参与し、それ以来理事の一員として歩みを共にしてきました。ちょうど学園創立の年にわたしはスコットランドのセント・アンドリュース大学で在外研究をし（ここに北垣宗治初代学長も留学されました）、その折に、新潟に最初の宣教師として赴任されたセオバルド・パーム先生の派遣宣教団体であるエディンバラ医療宣教団を訪ね、新潟伝道の報告書を読みました。明治初年に外国人に居住が許可された五港のうち、まだ宣教師のいない唯一の町である新潟に行くことを決意し、新婚の夫人が出産の不調から、母子ともに亡くなるという悲しみに耐えて、越後宣教に着手、十年にわたる開拓伝道にたずさわりました。彼とそのものに集まった人々（その中には、東北学院の創立者押川方義（オスカ）もいます）が、いかにこの地を愛して献身されたかを知るにつけ、わたしは新潟が、神がモーセに告げられた「聖なる土地」（出エジプト記二・五）であるという思

Close up

理事長
大宮

ひろし
溥



いに打たれました。

●キリスト教主義学校の設立

新潟にキリスト教主義の学校を設立しようとの思いは明治期からありましたが、短期間しか実りませんでした。それが、一九六〇年代になって、日米のキリスト教会と学校の協力機関（内外協力会）が、キリスト教学校の戦後復興が完了したので、新たに学校開設にあたるという意向を表明しました。新潟のキリスト教会は直ちにこれに応じ、米独自の教会、それに新潟県と新潟市（後に新潟田市、聖籠町が加わりました）が提携して、一九六八年敬和学園高校として出発、一九九一年敬和学園大学の設立を見ることができました。イエス・キリストは、「あらゆる種」の譬えで、小さな種で時が経たぬものが成長して空の鳥が巣を作るほどに



建設中の敬和学園大学（1990年）

なると教えられました。敬和学園の成長はそれを思わせるものであります。それと共に、「塵も積もりて山となる」のことわざのように、多くの人々の協力の賜物であります。

●「敬和」の精神

今年三月一日に「東日本大震災」が発生し、近代気象観測開始以来最大の災害をもたらしました。敬和学園設立に着手した直後に「新潟地震」（一九六四年）が発生し、わたしたちは設立手続きを一時中断して救援活動に専念しましたが、新しく作られる学校では、「地の基は震え動く」（イザヤ書二四・一八）ようなときにも動くことなく、置かれた場にしっかりと腰を据え、歴史を築いて行く人間が育つようにとの思いが強くあります。それが「敬和学園」という校名に現れています。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい」と、「隣人を自分のように愛しなさい」という、敬和学園の教えであります（マルコ福音書一二・二八、三一）。敬和学園高校初代校長の太田俊雄先生が「愛人」をあえて「和」という言葉で表そうとされたのは、日本の精神的伝統である「和」の精神を、キリスト教的な愛の教えによって深めたいという願いからでありました。

今回の大震災によって、われわれは大きな衝撃と痛みを経験しましたが、これを機会に日本社会が罹災した人々や土地



被災地でのボランティア活動（2011年）

に対して深い同情を寄せ、共同体としての連帯と支援を表したことは、心の温まる光景でした。これは、日本が島国で同族意識が生まれやすい環境にあったからでもありません。しかし同族意識は、場合によっては外部の人たちに対する排除意識に転じることがあります。関東大震災の時の朝鮮人虐殺事件などはそれでした。隣人愛「和の精神」が真実に発揮されるためには、人生の座標軸の横軸である「隣人愛」を支える、縦軸としての「敬和」が必要であります。イエス・キリストも山上の説教で、当時の同胞たちが「隣人を愛し、敵を憎め」と言っているのを取り上げ、「しかし、わたしは言うておく。敵を愛し、自分を迫害する者のために祈りなさい。あなたがたの天の父の子となるためである。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい者にも

正しくない者にも雨を降らせてくださるからである」(マタイ福音書五・四四、四五)と言っておられます。

●神を敬うという生き方

東日本大震災の中でもう一つ印象に残っていますのは、今度の被害は専門家さえも予測できなかった「想定外」の災害であったという言葉であります。関東大震災がマグニチュード七・九であったのに対して、東日本大震災はマグニチュード九・〇であり、これは関東大震災の四五倍の揺れだったそうでありま

す。そのための地震、津波、さらに原発事故は、われわれに深刻な衝撃と恐怖を与えました。そのなかでも特に深刻なのは原発事故であります。それが「想定外」のことだったと言われても、事実として起こったために、それまで一応安全だと言われていた核燃料が溶融「メルト・ダウン」して、もし高度に汚染された物質や水が外に漏れ出るようなことがあれば、取り返しのつかない事態が生じます。

ティヤール・ド・シャルダンというカトリックの修道士で、古生物学という生物進化の歴史を研究した人が、死後に『現象としての人間』という書を残しました。そこに宇宙の発生から人間の出現までの過程を大きな進化の歴史として捉えています。そして、その進化の歴史の節目に、質的飛躍の転換点があると言います。素粒子から、原子、分子へ、無機の物質から細胞を持った有機生物へ、そし

てついに人間へという、節目節目の転換点で、一段階高い存在が出現してきました。この転換点は、神のみがなし得るような全能者の働きで、これが勝手に操作されると今の世界とその秩序とが崩れてしまいます。人間は科学の進歩につれて、この神の知恵の領域にまで入り込んでいくように思われます。もし人間が自分の知識と技術で、世界を勝手に変えられたいと思えば、原子爆弾で人を殺したり、生物分子を操作して人間にはコントロールできない有害な物質や病気を作ってしまうことになりま

す。わたしは今度の原発事故を通して、人間が神ではなく宇宙を創造された神の下で、被造物、他の生き物と一緒に生きているのだという「被造物意識」を持ち、人間に許されている範囲と限界を守って、生きてゆかなければならないことを



入学式での祈り (2011年)

Profile

大宮溥 理事長 プロフィール

1933年、香川県生まれ。
1958年、東京神学大学修士課程を修了し、日本基督教団教師となり、東中通教会と阿佐ヶ谷教会で牧会。
1966年、東京神学大学博士課程を修了し、神学博士。
現在、阿佐ヶ谷教会名誉牧師。日本聖書協会と学生キリスト教友愛会(SCF、日本基督教団学生センター)の理事長。東洋英和教学担当常務理事。

強く教えられました。今日われわれは、
①原子エネルギーの操作と活用 ②人口増殖 ③自然の保全という面で、神への畏れと人間としての謙遜をもって生きてゆかなければならないことを、教えられています。原子エネルギーを完全にコントロールできないなら、これを廃止する。食料と環境が許さないような人口増加を食い止める。持続可能な地球環境を保つために、自然破壊と環境破壊をしつかりとコントロールする。「敬神」とは、そのような生き方を身につけることであります。敬和学園はこのような大きな志を持って四三年、大学としても二〇年の歩みをたどって来ました。しかし、学生・生徒相当年齢者の少子化、高等教育機関の増設などによって、学生募集に苦闘しています。このような状況の中で、この学園の教育の質の高さと教職員と学生・生徒との交わりの豊かさが広く理解されて、さらなる前進が遂げられるように願うものであります。



二〇一一年度の入学式が四月五日に挙行されました。鈴木佳秀学長より入学を許可された新入生たちは、期待に胸をふくらませ、笑顔で大学生活のスタートをきりました。

四月八日は、村上陽一郎 東洋英和女学院大学長をお迎えし、「科学・技術とキリスト教・その現代的意味」と題して新入生歓迎公開学術講演会を開催しました。新入生たちは大学での学術的な深い学びに触れることができました。

入学から二週間ほどした四月二一、二二日には、新入生が自然の中での集団行動を通じて、多くの友だちをつくり、今後の学生生活の準備をすることを目的とした新入生オリエンテーションを、まだ肌寒く桜の花も咲き始めたばかりの胎内市で行いました。一日目は、地元のボランティア団体と社会福祉協議会よりご協力

資格特待生

よく学び、よく遊ぶ

英語文化コミュニケーション学科一年

小日山 兼太



入学して数カ月が経ち、敬和学園大学の環境にも慣れてきました。今では、大切な仲間もたくさんできて、充実した大学生活を過ごしています。

私は高校生の時に英検二級を取得することができ、敬和学園大学に新入生資格特待生として入学することができました。授業料は二年間免除されますが、その先も特待生として過ごしてい

くためには、しっかりとした成績を残し、三年生までに英検準一級もしくはTOEICで七三〇点以上の得点を達成する必要があります。

まずは、このハードルを乗り越えるために、しっかりと勉強していこうと強く思っています。そして、英検やTOEICだけでなく、幅広い教養を身につけ、他の資格もたくさん取得して、就職に向かってよいスタートが切れるように、早くから準備をしておきたいと思っています。

また、サークルは軟式野球部に所属しています。先輩たちは昨年、東日本大会に出場しているので、私も思い切り練習し、活躍したいと思っています。大切な仲間たちと共に、勉強し、身体を動かし、いっぱい遊んで、学生生活を一層充実させたいと思います。

未来を担う新入生諸君！

いただき、ホテル内の施設・設備を利用して、ブラインド・ウォーク体験をしました。ペアとなった学生の気持ちを考え、声を掛け合いながら目の不自由な方の疑似体験をすることで、学生それぞれにたくさんの気づきがありました。二日目は、恒例のクラス対抗綱引き大会が行われ、熱戦の末、伊藤ゼミが優勝しました。参加する学生と教員が協力・団結し、友情と親睦を深める機会となりました。

五月六日のチャペル・アッセンブリ・アワーの時間には、入学を記念した「ユリノキ」が植えられました。ユリノキは大きく育つ木です。東日本大震災による甚大な被害を前に、これからの日本の復興を担っていく新入生の皆さんが、このユリノキ同様、大きく成長していきけるよう、共に四年間の歩みをすすめていきたいと思います。



スポーツ特待生 自分らしさを大切に



国際文化学科一年
小林 亜沙未

私は、敬和学園高校に入学して初めてアーチェリーと出会いました。高校の体験入部の時に、練習を見学し、一本射つてすぐにアーチェリーにはまり入部することに決めました。

高校三年間は顧問をはじめ、たくさんの方々を支えてもらいながらがんばってきて、目標にしていたインターハイや国体に出場することができました。たくさんの方々に応援していただ

き、とてもうれしかったです。しかし同時に、結果に満足できずにとっても悔しい思いもしてきました。

敬和学園大学にはスポーツ特待生として入学することができました。大学での目標は、全国大会や国体選手になり、自分の目標としている先輩に追いつくことです。大学は高校よりも時間があり、また設備も整っています。自分で練習時間を考え、高校で味わった悔しい思いをしないようにがんばりたいと思います。また、高校時代お世話になった方々がたくさんいるので少しずつでも恩を返していけたらと思っています。強い人や上手い人も多いですが、「自分らしく」を忘れずに進んでいきたいからです。自分をしっかりもって生活していきたいです。

これからもがんばっていきますので、応援よろしくお願いします。

私たちが今できることを見つめ、被災者の皆さまに寄り添う

被災者支援ボランティアチーム「Keiwa HOPE」を結成！

東日本大震災の衝撃的な被災状況は、私たち全員が「神を敬い人に仕える」という精神を今一度思い起こす機会となりました。三月一七日、本学の在学生・卒業生・教職員約五〇名が集まり、被災者支援のボランティアチームが誕生しました。先の見えない復興への道のりを私たちなりにささえ、被災者の方々に少しでも希望を持っていただけるように考え、行動しよう、私たちはこのチームをKeiwa HOPEと名付けました。これは同時に、Keiwa for Helping Other Peopleの頭文字でもあり、「誰かのために働く敬和の仲間たち」という本学の理念をそのまま名前にいただいたものです。

私たちの活動は、新潟県内に避難されている福島県の方々への支援、募金および被災地活動による現地支援の二本柱となっています。新発田市の避難所では、炊き出しや町の地図作り、子供たちの学習支援を行いました。阿賀野市に避難している子供たちに対しても、五月半ばに二次避難が始まるまで学習支援を継続しました。卒業式や入学式での募金活動に加え、新発田市での街頭募金では、道行く誰一人も無視せず協力してくださいとお気持ちの重さが心に残っています。

ゴールデンウィーク後に減少すると言われたボランティアのニーズにこたえ

五月一六日からの五日間、一六名の仲間が岩手県遠野市を拠点に泥だしなどの活動を行いました。この間、留守番チームは学内での募金活動を行い、被災地チームが大槌町の幼稚園に寄贈した三輪車の代金を拠出することができました。オンラインキャンペーンでは、高校生や地域の皆さんに、これまでの活動を報告することができました。

これからも、毎月一日前後の週の募金活動をはじめ、自分たちの力でできる限りの支援活動を企画立案していきたいと考えています。今後とも、益々のご理解とご協力をお願いいたします。

(ボランティア委員会 山崎由)



keiwa HOPEの仲間たち

スローでつなぐ まちカフェ・りんく

まちカフェ・りんくは、敬和学園大学の学生主体による経営を目指して二〇一〇年八月に新発田駅前商店街にオープンしたコミュニティカフェの一種であり、次の六つのコンセプトからなる事業展開を通じて共生型地域活性化のまちづくりを目指しています。

- ① 「商店街活性化(まちづくり)への貢献」
- ② 「コミュニティ再生への貢献」
- ③ 「環境・福祉教育への貢献」
- ④ 「地産地消、食の安全・安心への貢献」
- ⑤ 「地域文化活動活性化への貢献」
- ⑥ 「若者の起業家精神育成への貢献」

駅前商店街の空き店舗を利用した学生中心のカフェ経営を基盤に据えながらも、地域住民や新発田市社会福祉協議会等、地域に密着した連携を目標に営まれています。これは、時代の変遷と共に地方商店街の代名詞としてすっかり定着してしまった「シャッター通り」という呼び名をネガティブに捉えるのではなく、むしろ無限の可能性に期待をかけたポジティブな捉え方として考え直す新しい視点です。

数々の課題を抱えながらもまもなく開店一周年を迎えます。これまでカフェに関わった学生は延べ三〇名

人間性豊かな福祉人材の育成

社会福祉士国家試験への取り組み

敬和学園大学では、「社会福祉士国家試験」にむけて、毎年四年生の夏休みに実施する集中合宿や、専門教員による国家試験科目講座や模擬試験を準備し、学生・教員が一体となった対策に取り組んでいます。また、試験関連図書や学生同士の情報交換の場として、「社会福祉士国家試験情報資料室」を設けています。そして多くの卒業生たちが、本学の目指している人間性豊かな福祉人材として育ち、各地の福祉施設や社会福祉法人、福祉関連企業で活躍しています。

社会福祉士国家試験合格者の声

二〇一〇年度卒業

佐藤 美理



大学生生活での最終目標であった「社会福祉士国家試験」に無事に合格することができ、とてもうれしく思っています。周囲の応援や一緒に四年間学んできた友達存在がとても心強く、最後まであきらめずにがんばることができました。今後はこの社会福祉士のスキルを活かして、社会に貢献していきたいです。

阿賀北地域の「食」または「食卓」をテーマに

「阿賀北ロマン賞」作品を募集します

敬和学園大学が主催する文藝賞「阿賀北ロマン賞」は、新発田市と聖籠町から新たなご支援を受け、第四回の作品募集を行います。当賞は、数多くの地域企業・団体様のご協力に支えられております。厚く御礼申し上げます。今回は、「食」または「食卓」をテーマに、阿賀北地域で生み出される作物や食品にまつわる物語を募集します。なお、本年度より、「小説部門」の大賞賞金を三〇万円に引き上げました。「創作童話・児童文学部門」では高校生部門を新設し、若い世代からの応募がしやすくなりました。皆さまからのご応募をお待ちしております。

(新発田学研究センター)

【小説・随筆部門】

二、〇〇〇字以上二〇、〇〇〇字以下の小説または随筆を募集します。

【創作童話・児童文学部門】

二、〇〇〇字以内の創作童話・児童文学を募集します。

※応募締切は一月二十五日(当日消印有効)。詳細はお問い合わせください。

敬和学園大学「阿賀北ロマン賞」事務局
新発田市富塚 二二七〇

http://hoveshibata.jp/agakita_roman4/

超、現在は六名体制で運営しています。利用者や地域住民とのコミュニケーションも少しずつ深まっています。学生の保護者の方が「子どもが大きく変わった」と教えてくれました。カフェという空間での活動で培われるキャリアアップは大学内では決して体験できない貴重なものです。まち力フェ・りんくはこれからも時代的変遷を踏まえた地域の様々な社会的ニーズを的確に汲み取りながら、敬和学園が重きを置くボランティア精神と社会的なビジネスマインド(社会起業)を結合させた人材育成を目指していきます。多くの学生たちがこの事業を機に地域に入り、地域から学び、地域と共に地域によって成長することを願っています。

(共生社会学科 趙)



新しいメニューの試食会

キャンパスライフを五感で感じる

オープンキャンパス、好評開催中！

オープンキャンパスは、これから大学進学を考えている高校生とその保護者の皆さま、そして日ごろお世話になっている地域の皆さまを対象に、大学の施設や講義を無料で開放し、敬和学園大学をよりよく知っていただくためのイベントです。今年度はすでに六月一九日(日)に第一回を終了し、今後も七月二十四日(日)、八月二二日(日)、九月二三日(金)に実施します。

当日は、前半のプログラムとして毎年好評をいただいている体験授業を実施します。各学科の教員が自分たちの学科での学びの紹介と、自分の専門分野をわか



たくさんのご参加、お待ちしております!

りやすくお話しします。また、本学で普段授業を担当している外国人教員が、敬和の英語の授業を実践してくれます。さらに、保護者の皆さま向けに就職支援体制や奨学金制度、留学制度等についての説明会も同時に開催します。

ランチタイムでは、普段学生たちが食べている人気の学食メニュー三種類からお好きなものをお選びいただき、無料で味わっていただけます。中庭では、チャリダー部やブラスバンド部等が練習の成果を披露してくれます。

後半のプログラムでは、サークル紹介や、在学生が独自の視点で大学内を案内するキャンパスツアー、推薦入試対策として人気の模擬面接、個別入試相談会、在学生とのフリートークコーナー等々、学生たちの生の声から敬和を知ることができるプログラムを用意しています。

教員と学生の距離の近さが敬和の大きな魅力です。オープンキャンパスでは、教職員、在学生が参加者お一人おひとりに敬和のよさを直接お伝えします。楽しくてためになるオープンキャンパスにお誘い合わせのうえご参加いただき、五感で敬和学園大学を感じてください。

〈お問合せ・お申込み〉

敬和学園大学 入試課

☎〇二〇一―二六―三三三七

雨を吹き飛ばすほどの熱戦

学長杯高校生交流テニス大会を開催

敬和学園大学学長杯高校生交流テニス大会が四月二三日、二四日に開催され、学内の人工芝三面、クレー一面のテニスコートで熱戦が繰り広げられました。

二回目となる今回は、昨年を上回る男子六チーム、女子九チームにご参加いただきました。春季地区大会前ということもあり、調子を上げてきている選手同士の白熱した試合が展開されました。その結果、男子は巻高校が、女子は新発田高校(A)が優勝しました。

本学のテニス部は、強化クラブに指定されており、高松茂雄監督のもと団体戦に勝てるチームづくりを目指して日々練習に励んでいます。この大会では、本学テニス部の部員たちも高校生との交流を楽しみながら、運営を行っていました。



雨でも安心の人工芝コートで熱戦

二〇一一年度後援会総会の報告

東日本大震災の影響で入学式を見送る大学もありましたが、敬和学園大学は、予定通り四月五日に新発田市市民文化会館において、一七七名の新入生・編入生を迎え入学式を挙行いたしました。その後、二〇一一年度敬和学園大学後援会総会を開催し、始めに顧問の学校法人敬和学園の大宮溥理事長並びに敬和学園大学の鈴木佳秀学長よりご挨拶をいただきました。議事に入り、今年度も会員相互の

連絡を図り、大学と密接な連携のもとに、学生の学術並びに体力向上と大学の環境を整えるため、施設、設備、備品の改善等に協力し、敬和学園大学発展に寄与することを基本方針とした自主事業、協力援助事業が承認されました。

今後、後援会の皆さまより納入していただいた貴重な財源を有効に活用し、地域と共に生きようとする敬和学園大学の発展に協力していきたいと思っております。

常々鈴木佳秀学長は、神を敬い、人との和を重んじる共生の精神から命名された敬和学園大学は、「何かのために生きる人材ではなく、誰かのために生きる人材づくり」を実践していると言われます。我々役員も、よりよい人間関係づくりを目指し、後援会活動の充実に努めたいと思っておりますので、ご理解ご協力をよろしく願います。

(後援会長 比企)

収入の部 単位：円

科目	2010年度予算	2010年度決算	2011年度予算
後援会費	21,665,000	21,875,000	21,175,000
寄付金	10,000	10,000	10,000
雑収入	1,000	410	1,000
学生団体より戻入れ金	300,000	859,966	300,000
収入小計	21,976,000	22,745,376	21,486,000
前年度繰越	3,337,639	3,337,639	3,535,183
収入の部合計	25,313,639	26,083,015	25,021,183

支出の部 単位：円

科目	2010年度予算	2010年度決算	2011年度予算
事業活動費	3,330,000	3,029,663	3,230,000
会議費	200,000	168,400	200,000
事務費	30,000	30,000	30,000
通信費	4,420,000	3,066,550	4,200,000
印刷製本費	2,255,000	1,726,410	2,250,000
手数料	20,000	9,625	20,000
学生クラブ補助費	3,000,000	3,110,260	3,000,000
学生開放施設光熱費補助	700,000	700,000	700,000
学園祭補助費	3,000,000	3,000,000	3,000,000
教職員活動補助費	300,000	130,000	300,000
施設、設備、備品補助費	6,898,500	6,898,500	6,898,500
旅費交通費	80,000	36,000	80,000
雑費	595,000	642,424	595,000
予備費	485,139	0	517,683
支出小計	25,313,639	22,547,832	25,021,183
次年度繰越金	0	3,535,183	0
支出の部合計	25,313,639	26,083,015	25,021,183

2011年度敬和学園大学後援会役員

役職	氏名	職業	備考
会長	比企 広正	19 回生保護者	会社経営
副会長	小林 建	18・20 回生保護者	会社経営
副会長	小林 光子	18 回生保護者	主婦
理事	市村 周子	19 回生保護者	会社員
理事	朝倉 志保子	20 回生保護者	主婦
理事	竹石 仁	21 回生保護者	会社員 新任
理事	新保 敏行	21 回生保護者	公務員 新任
監事	長谷川 光子	19 回生保護者	主婦
監事	遠藤 恵	21 回生保護者	主婦 新任

顧問 大宮 溥 学校法人敬和学園理事長

顧問 鈴木 佳秀 敬和学園大学長

違った角度から見る歴史



国際文化学科教授
藤野 豊

敗戦から四か月が経った一九四五年二月、衆議院議員選挙法が改正され、はじめて女性が参政権を獲得しました。このことは、戦後の民主主義を象徴する出来事として記憶されています。しかし、この法改正により、アメリカ軍の軍政下に置かれていた沖縄のひとびとは参政権を奪われてしまいました。日本人の多数にとり権利の拡大として歓迎された法改正ですが、沖縄のひとびとから見れば、権利の剥奪だったのです。このように、ひとつの歴史の出来事でも、見る立場を変えるとまったく異なった事実になります。

これまで、私は常に少数者の側から日本の歴史を考えてきました。アイヌ民族から見た日本史、病者・障害者から見た日本史、植民地のひとびとから見た日本史、さまざまな差別されたひとびとから見た日本史、敬和学園大学でも、そうした歴史像を学生の皆さんに伝えていこうと思います。敬和学園はキリスト教を建学の精神としていますが、こうした歴史像を伝えることは、その精神にも合致しているのではないのでしょうか。私は、敬和学園にふさわしい歴史教育を目指して精進していきたいと思っております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

英語の果たす価値



人文学部契約講師
エイドリアン・ワーグナー

まだ比較的经验の浅い教員として着任した私ですが、敬和の暖かく協力的な雰囲気の中で迎えていただき、また経験豊かな同僚から多くのことを学ぶことができて感謝しています。

学生たちには英語を単に卒業に必要な科目としてではなく、人生を豊かにするための道具として伝えたいと思います。かつてないほどの地球上に住む人々の距離が近くなった今、そして技術が進んで、国境や海を越えて人々や思想、ビジネスがいとも簡単に行き来できるようになった今、この世界というコミュニケーションで意味ある役割を果たすためには第二言語を知ることが極めて重要です。敬和の学生たちには、試験後も卒業後も英語を使い、磨き続けて欲しいと思います。敬和のモットー「自分を知る。世界を知る。」にあるとおり、学生たちには自分を知り、世界を知るために英語の果たす価値に気付いてほしいと思います。

学食やフレンドリーな職員さんをはじめ、敬和で好きなものはたくさんあります。雪をかぶった山並みや田んぼの息を呑むような景色も私にとってはまだ異国的で大好きです。でも、献身的な教育者とやる気のある学生たちと共に学べるこの機会こそ尊いものだと感じています。

寄付者ご芳名

(二〇一一年八月一日現在、敬称略)

二〇周年記念基金

〈一般〉

京都丸太町教会シオン会

〈学園関係〉

後宮 俊夫

アーチエリーレンジ基金

〈一般〉

畠山 資邦、加藤 次巳智、

(株)アートグラフィック新潟、

愛宕商事(株)、(株)ビックフオール、

(株)サーティファイ、(株)大通、

ガスキンあやめ、

(株)電通東日本新潟支社、

(株)イノウエ、(株)ジェイ・エス・エス、

(有)共栄、(株)日本フードリンク、

新潟ファームサービス(株)、

(株)新潟放送、新潟スカイテック(株)、

(株)新潟総合テレビ、

(株)新潟テレビ二十一、

医療法人社団西方歯科診療所、

野村證券(株)新潟支店、

(株)岡村製作所東京営業部新潟西支店、

島津印刷(株)、(有)エス・オー・ディ、

(株)テレビ新潟放送網、

東北電力(株)新発田営業所、

(株)東和製作所

〈学園関係者〉

鈴木 佳秀

池上彰氏、来る！

同窓会ホームカミングデーのご案内

敬和祭の開催に合わせ、一〇月二二日にホームカミングデーを開催します。

第一部は、ジャーナリストの池上彰氏を迎え、「わかりやすく伝えるとは」と題した記念講演会を開催します。社会で求められるコミュニケーション能力を磨くために「わかりやすさ」について考えます。また講演の後には、同氏を交えて「今、一番若者に伝えたいこと」と題したシンポジウムを行います。一般の方の参加費は五〇〇円で、その全額を東日本大震災の復興支援金として寄付します。同日開催の敬和祭では、学生たちの展示や屋台もぜひお楽しみください。

第二部は新潟市に会場を移し、卒業生を対象としたホームカミングパーティーを開催します。池上氏も参加します。卒業生の皆さまが母校の歩みを感じ、旧交を温める機会となりますよう祈念しています。(ホームカミングデー担当 皆川)

●ホームカミングデー

第一部 記念講演会・シンポジウム

日時：一〇月二二日(土)

一四時～一五時四〇分

場所：敬和学園大学

第二部 ホームカミングパーティー

日時：一〇月二二日(土) 一八時～

場所：ANAクラウンプラザホテル新潟

会費：三、〇〇〇円

英語を学ぶ、町の魅力を発見する

中・高生向けの講座を開催します

好評をいただいた五月の講座に続き、九月に第二回英検二級・準二級対策英語集中講座を実施します。英検合格を目指す生徒さんを対象に、一次試験の出題傾向や問題の解き方を解説すると共に、二次試験対策の面接練習も行い、合格に至るための手助けをします。本学では英検二級に合格した入学者を対象に、新入生資格特待生制度(授業料の二年間免除)を用意し、英語をがんばった成果を評価し、将来の夢の実現を支援しています。

また、八月には「フォトウォーク in 新発田」を開催します。新発田市内を散策しながら写真を撮影し、町の魅力を再発見していきます。翌日には写真をインターネットで共有する方法を学びます。みんなで写真を共有することで、それぞれの視点や角度から撮られた風景から町の意外な魅力を発見していきます。写真愛好家から携帯電話のカメラでの参加者まで、どなたでもお気軽にご参加ください。(広報委員長 金山)

●英検二級・準二級対策英語集中講座

九月二四日(土)一〇:四〇～一六:一〇

●フォトウォーク in 新発田

八月二〇日(土)九:三〇～一三:〇〇

八月二二日(日)一〇:四〇～一四:四〇

(お問合せ・お申込み)

企画・広報係 〇二五四・二六・三二六三五

一般寄付者

〈一般〉

阿部 和夫、青田 正子、遠藤 恒雄
藤原 直子、後藤 盛子、後藤 喜恵
長谷川光子、本間 進一、伊藤 國夫
伊藤ノリ、金原 秀聡、近藤 由松
熊谷 伸幸、櫛部 ふじ、村山 国弥
中山 トヨ、大橋 敏江、大作 寿
太田 二郎、大数善次郎、笹川 寛
相馬 文子、鈴木 昭夫、田坂ゆたか、
寺田 芳徳、上原幸次郎、若山 浩一、
渡辺 英明、山田トシ子、山本 充
横井 政時、吉岡 トリ、
(株)大西、

在日本インターボード宣教師社団

〈卒業生・在学生・保護者〉

高野あゆみ(二)、斎藤篤(二)

〈学園関係〉

鈴木 孝二、高田 茂、後宮 俊夫、

後援会、オレンジ会(2)

(一)内、漢数字は期生、算用数字は回数

本学にお寄せくださいましたご支援・ご厚意に心より感謝申し上げます。

昨年一〇月より募集していただいたアーチエリールンジ募金には、六〇件、七九五万五千円のご協力をいただきました。重ねて御礼申し上げます。

ひまわり、ひまわりをねる方

二〇〇八年度卒業
船山 裕美

私は、大学卒業後の二年間、小学校で「適応指導教室学習指導員」として勤務させていただきました。小学校での生活は、予想していたものをはるかに超え、毎日がとても刺激的でした。

主な仕事内容は、算数や国語の個別指導をしたり、チームティーチングをして子どもたちの学習を支援することでした。休み時間には子どもと一緒に体を動かし、学校や家庭のこと、趣味や悩みなどじっくりと話をしました。同僚の先生方はとても魅力的な先生ばかりで、どんな場面でも褒めたり叱ったりしながら色んなことを教えてくださいました。常に持ち歩いてきたノートは、先生方からのアドバイスや、授業中「すごい」「なるほど」と思ったことをメモして真っ黒。四冊のノートは一生の宝物です。「私も将来、絶対にこういう大人になりたい。」と思いながら、とにかく先生たちの姿を見よう見まねしていました。

働くうちに「子どもって面白いなあ。」「こんな職場ですと働きたいなあ。」という思いがどんどん強くなり、通信教育で小学校の免許を取得しました。たくさ

んの方の力を借りながら、なんとか教員採用検査を突破することができ、現在は小学校一年生の担任をしています。まだまだ分からないことだらけで忙しい毎日ですが、とても充実しています。

私の周りには、大学生活の中で、自分の本当にしたいことに向かってたくさん投資をしながらがんばっている人が何人もいました。目指している所が違って、接しているとやる気が出て、自分もがんばろうと励みになりました。厳しかった敬和の教職課程で経験したことも、卒業してからすごく役立っています。これからの教員生活、子どもの「できた!」「やった!」を大切に、子どもがいいところをぐんぐん伸ばしてあげられるように、色んなやり方にチャレンジしながらがんばりたいと思います。



敬和では中学・高校教員免許（英語）を取得

学事予告

◆七月◆

- 二日 シニア生涯学習相談会
- 大学オープンカレッジ③④(三日まで)
- 九日 児童英語教育セミナー
- 二三日 聖籠町キッズ・カレッジ①
- 三年生保護者との就職懇談会
- 二四日 オープンキャンパス②
- 二九日 前期講義終了
- 三〇日 前期末試験(八月六日まで)

◆八月◆

- 六日 聖籠町キッズ・カレッジ②
- 七日 夏期休暇(九月二〇日まで)
- 八日 前期集中講義①(一二日まで)
- 教員免許状更新講習

- 二〇日 高校生向けフォトワーク(二日まで)
- 二二日 オープンキャンパス③
- 二二日 前期集中講義②(二六日まで)
- 二六日 職員研修会
- 三一日 国家試験対策講座3(九月二日まで)

◆九月◆

- 五日 教育実習事前指導(七日まで)
- 一〇日 シニア生涯学習相談会
- 二〇日 前期卒業式
- 二一日 秋季入学式
- 二二日 新発田市オープン・カレッジ①
- 二三日 オープンキャンパス④
- 二四日 後期講義開始
- 高校生向け英検対策集中講座
- 二七日 新潟市北区オープン・カレッジ①
- 二九日 新発田市オープン・カレッジ②

キャンパス日誌

4 April

- 1 学年始め
 5 入学式、保護者ガイダンス、後援会総会
 8 新入生歓迎公開学術講演会
 講師 村上陽一郎 東洋英和女学院大学長
 「科学・技術とキリスト教—その現代的意味」
 学生団体紹介
 9 共生社会学科 1 年生新発田市内見学
 履修相談日
 12 前期講義開始、履修登録期間（～18日）
 13 教授会
 15 チャペル・アッセンブリ・アワー①
 説教 鈴木佳秀 学長「決してそうではない」
 阿賀北ロマン賞授賞式
 18 履修登録票提出期間（～19日）
 20 お花見ランチ（写真①）
 21 新入生オリエンテーション（胎内アウレツ館、～22日）
 23 学長杯高校生交流テニス大会
 （～24日、男子6チーム、女子9チーム）
 25 履修登録確認期間（～5月6日）
 28 新潟北高校2年生大学見学（79名）



5 May

- 6 チャペル・アッセンブリ・アワー②
 入学記念樹植樹礼拝（クリノキ1本）
 説教 大澤秀夫 宗教部長
 「よく見なさい。注意してみなさい。」
 講話 グレゴリー・グッドマーカーク 教授
 「Our Power to Save and Destroy Nature」
 11 教授会
 13 チャペル・アッセンブリ・アワー③
 説教 田中薫 敬和学園高校社会科教師
 「毎日十字架を見上げれば」
 講話 松永堡智 新津福音キリスト教会牧師
 「バランス感覚を養おう」
 新発田警察による生活安全指導
 16 Keiwa HOPE 東日本大震災ボランティア活動
 （岩手県上閉伊郡大槌町、～20日、16名、写真②）
 20 チャペル・アッセンブリ・アワー④
 説教 金山愛子 教授「今は…しかし」
 講話 ① 本学留学生によるスピーチ
 国際文化学科3年 劉宝森さん
 英語文化コミュニケーション学科3年 ベルベルシ・ステファンさん
 ② ACLP（エンブリー・リドル航空大学）の紹介
 英語文化コミュニケーション学科4年 計良愛さん
 国際文化学科3年 渡辺百枝さん

- 21 中高生向け英検対策英語集中講座（23名）
 27 新入外国人学生歓迎懇親会
 チャペル・アッセンブリ・アワー⑤
 説教 市橋隆雄 キューナ教会（ケニア共和国）牧師
 「いま、永遠を生きる、自分をつかむ」
 講話 桑原三恵 いのち・原発を考える新潟女性の会
 「明日にむけて」
 29 新発田朝市十二斎市（写真③）



6 June

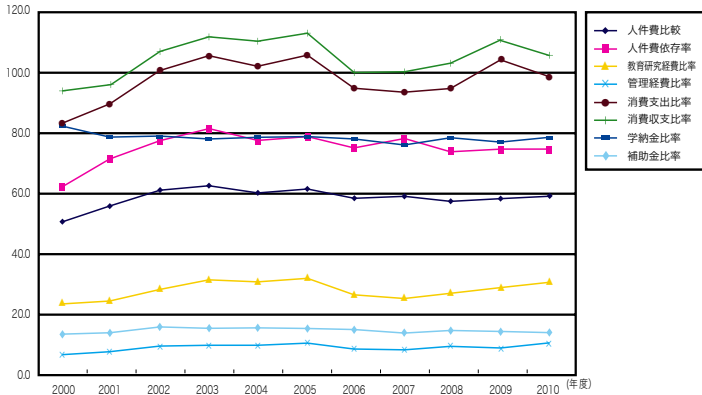
- 1 教授会
 3 チャペル・アッセンブリ・アワー⑥
 説教 山崎ハコネ 准教授
 「人間をとる漁師にしよう」
 講話 Keiwa HOPE 「震災ボランティア報告会」
 4 スポーツ大会
 10 チャペル・アッセンブリ・アワー⑦
 説教 大澤秀夫 宗教部長「一つとなりなさい」
 講話 荒井善正 プロスノーボーダー
 「スノーボードがくれた命」
 11 大学オープンカレッジ①②（～12日、88名）
 講師 吉田新一 立教大学名誉教授（写真④）
 「絵本の愉しみ5 大人の深読み・英米絵本」
 13 相談援助実習1（～25日）
 17 チャペル・アッセンブリ・アワー⑧
 説教 神崎典子 日本基督教団新潟教会牧師
 「最後の者にこそ」
 講話 石黒三沙子 元日赤従軍看護婦
 「私の戦争体験」
 19 オープンキャンパス①
 （高校生57名、保護者36名、社会人1名）
 22 高校教員対象進学説明会（14名）
 久比岐高校 PTA 大学見学（PTA12名、教員5名）
 23 松浜中学校3年生大学見学（5名）
 24 チャペル・アッセンブリ・アワー⑨
 説教 宇田川梁 事務局長「岩の上に家を建てる」
 講話 カンベンガ・マリールイス（写真⑤）
 NPO 法人ルワンダの教育を考える会理事長
 「ルワンダの悲劇から学んだこと、平和と教育の大切さ」
 オレンジ会総会（志まや）
 25 大学・高校合同研修会



敬和学園財務状況等のご報告

学校法人敬和学園の財務状況を報告します。本学園の予算・決算は、法人本部・大学・高等学校の三部門で構成されていますが、紙面の都合、法人全体と大学部門の数値のみの記載、内容についても大学部門の消費収支計算書のポイントのみの説明とさせていただきます。また、図や表をご覧いただき、詳細をお知りになりたい方は、敬和学園大学総務課までお問い合わせください。

〈消費収支計算書関係比率の推移〉



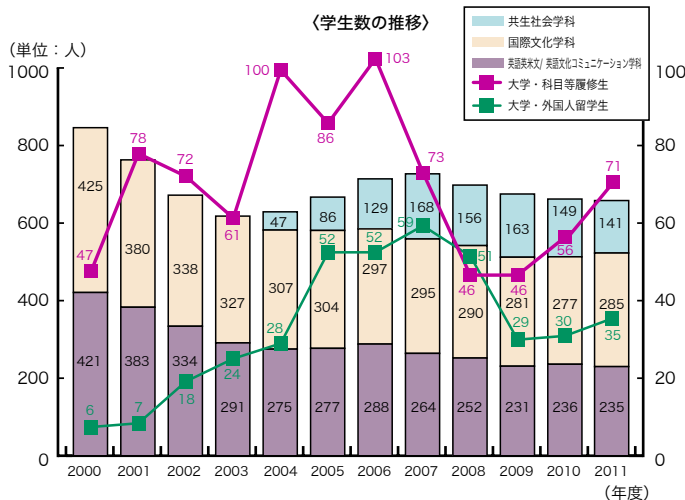
〈消費収支計算書関係比率の推移〉

※比率の高低の評価は次のとおり。△高い値がよい ▼低い値がよい ~どちらもいえない

		2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度
大 学	人件費比率 ▼	50.4	55.4	60.6	62.1	59.7	60.9	57.9	58.4	56.8	58.1	58.9
	人件費依存率 ▼	61.6	70.8	77.0	80.1	76.6	77.9	74.7	77.4	73.0	75.3	75.2
	教育研究経費比率 △	23.4	24.3	28.1	31.4	30.7	31.6	26.3	25.0	26.6	27.7	29.1
	管理経費比率 △	6.8	7.4	9.2	9.7	9.4	10.3	8.3	8.0	9.3	9.0	10.1
	借入金等利息比率 ▼	1.6	1.6	1.7	1.7	1.6	1.4	1.1	1.0	1.0	0.9	0.8
	消費支出比率 △	82.6	89.1	100.0	104.9	101.6	105.0	94.2	92.8	93.8	104.6	98.9
	消費収支比率 △	93.5	95.5	106.6	111.1	109.8	112.6	99.2	99.4	102.4	112.3	106.6
	学生生徒等納付金比率 △	81.7	78.3	78.7	77.6	78.0	78.2	77.5	75.5	77.8	77.1	78.3
	寄付金比率 △	2.1	3.6	2.4	3.2	2.2	2.1	2.5	2.4	2.4	2.7	3.4
	補助金比率 △	13.5	14.0	15.5	15.5	15.6	15.1	14.9	14.2	14.5	14.0	13.8
	基本金組入率 △	11.6	6.7	6.1	5.6	7.4	6.7	5.1	6.6	8.4	6.9	7.2
	減価償却費比率 ~	14.2	12.7	13.2	14.2	13.8	12.3	9.3	8.1	8.2	7.6	8.2

〈2010年度開催のオープン・カレッジほか〉

タイトル	講師	日程	一般参加者
新入生歓迎公開学術講演会「生命を育てる心」	川田 嬬 前惠泉女子学園長	4月7日	11名
敬和学園大学オープン・カレッジ「絵本の楽しみ4」	吉田 新一 立教大学名誉教授	6月5日～ 7月4日	107名
新発田市オープン・カレッジ「映画・人・世界」	神田 より子 教授 ほか	6月8日～ 7月6日	83名
聖籠町キッズ・カレッジ「夏休み子ども陶芸教室」	趙 晤衍 准教授	7月24日、 8月7日	32名
中・高生向け講座「プロの作家に学ぶ文章作法」	加藤 宗哉 作家・「三田文学」編集長	8月6日	17名
中・高生向け講座「英検2級対策 英語集中講座」	中村 義実 教授	9月25日	11名
新潟市北区オープン・カレッジ「地域と人と」	鈴木 佳秀 学長 ほか	9月28日～10月24日	32名
共生社会学科講演会「『転換期の社会福祉』を考える」	加藤 園子 中部学院大学大学院教授	10月2日	85名
20周年記念講演会「自分を知る。世界を知る。」	久保 正彰 日本学士院院長	10月30日	160名
共生型大学連携講座「新潟の国際交流」	中村 義実 教授	11月6日	37名
共生型大学連携講座「忘れられない新発田の人々」	山田 耕太 教授	11月20日	25名
新発田学研究センター講演会「『七人の侍』が与えた影響」	四方田 犬彦 明治学院大学教授	2月26日	150名
戦争とジェンダー表象研究会「第二次世界大戦とニッポン」	加納 実紀代 特任教授 ほか	3月19日	80名



●二〇一〇年度事業報告
 創立二〇周年記念事業として次のことを行いました。久保正彰日本学士院院長を迎えての記念講演会と祝賀会を一六〇名の一般参加者を得て一〇月三〇日に行いました。当日は校歌作曲家大中恩氏と作詞家北島万紀子氏を迎え、大中氏指揮のもと校歌を披露しました。また記念誌も配布しました。改修したピロティには座りやすい椅子が置かれ、学生の憩いの場となりました。(株)ハードオフコーポレーション会長兼社長山本善政氏の多大なご協力とアーチエリレンジを建設しました。

〈2010年度資金収支計算書及び2011年度同予算書〉

収入の部 (学校法人 敬和学園) (単位: 円)

科目	2010年度決算額	2011年度予算額	増減
学生生徒等納付金収入	996,585,681	1,029,283,000	△ 32,697,319
手数料収入	18,349,470	15,851,000	2,498,470
寄付金収入	47,238,232	40,816,000	6,422,232
補助金収入	363,790,461	362,477,000	1,313,461
(国庫補助金収入)	(118,555,131)	(116,026,000)	(2,529,131)
(地方公共団体補助金収入)	(245,235,330)	(246,451,000)	(△) 1,215,670
資産運用収入	17,448,000	11,801,000	5,647,000
資産売却収入	634,111,969	892,000,000	△ 257,888,031
事業収入	87,517,642	87,829,000	△ 311,358
雑収入	32,163,187	18,555,000	13,608,187
借入金等収入	20,000,000	0	20,000,000
前受金収入	221,859,500	203,418,000	18,441,500
その他の収入	85,416,608	63,891,000	21,525,608
資金収入調整勘定	△ 242,682,339	△ 192,960,000	△ 49,722,339
前年度繰越支払資金	1,180,788,143	1,229,980,099	△ 49,191,956
収入の部合計	3,462,586,554	3,762,941,099	△ 300,354,545

収入の部 (敬和学園大学) (単位: 円)

科目	2010年度決算額	2011年度予算額	増減
学生生徒等納付金収入	666,856,500	684,980,000	△ 18,123,500
手数料収入	11,176,770	10,026,000	1,150,770
寄付金収入	27,192,030	15,816,000	11,376,030
補助金収入	117,704,971	116,922,000	782,971
(国庫補助金収入)	(116,755,131)	(116,026,000)	(729,131)
(地方公共団体補助金収入)	(949,840)	(896,000)	(53,840)
資産運用収入	15,213,262	9,827,000	5,386,262
資産売却収入	579,951,312	872,000,000	△ 292,048,688
事業収入	4,671,636	4,800,000	△ 128,364
雑収入	5,278,563	4,480,000	798,563
前受金収入	179,919,500	168,360,000	11,559,500
その他の収入	230,777,412	2,790,000	227,987,412
内部資金収入	27,371,231	23,247,000	4,124,231
資金収入調整勘定	△ 177,994,349	△ 136,030,000	△ 41,964,349
前年度繰越支払資金	748,438,044	720,308,000	28,130,044
収入の部合計	2,436,556,882	2,497,526,000	△ 60,969,118

支出の部 (単位: 円)

科目	2010年度決算額	2011年度予算額	増減
人件費支出	995,808,809	1,036,380,000	△ 40,571,191
教育研究経費支出	268,394,922	277,202,000	△ 8,807,078
管理経費支出	132,642,406	132,346,000	296,406
借入金等利息支出	8,211,434	7,005,000	1,206,434
借入金等返済支出	54,005,191	52,795,000	1,210,191
施設関係支出	24,081,402	28,020,000	△ 3,938,598
設備関係支出	45,672,806	59,809,000	△ 14,136,194
資産運用支出	622,600,274	903,256,000	△ 280,655,726
その他の支出	84,528,535	53,126,000	31,402,535
予備費	0	5,000,000	△ 5,000,000
資金支出調整勘定	△ 54,711,411	△ 74,427,000	19,715,589
次年度繰越支払資金	1,281,352,186	1,282,429,099	△ 1,076,913
支出の部合計	3,462,586,554	3,762,941,099	△ 300,354,545

支出の部 (単位: 円)

科目	2010年度決算額	2011年度予算額	増減
人件費支出	501,267,253	514,360,000	△ 13,092,747
教育研究経費支出	186,605,196	197,613,000	△ 11,007,804
管理経費支出	77,634,429	73,689,000	3,945,429
借入金等利息支出	6,709,020	5,702,000	1,007,020
借入金等返済支出	33,320,000	33,320,000	0
施設関係支出	16,800,550	0	16,800,550
設備関係支出	13,441,028	46,829,000	△ 33,387,972
資産運用支出	582,349,437	873,256,000	△ 290,906,563
その他の支出	236,869,078	15,395,000	221,474,078
内部資金支出	32,668,376	28,877,000	3,791,376
予備費	0	5,000,000	△ 5,000,000
資金支出調整勘定	△ 15,118,591	△ 15,324,000	205,409
次年度繰越支払資金	764,011,106	718,809,000	45,202,106
支出の部合計	2,436,556,882	2,497,526,000	△ 60,969,118

大学案内看板もエンジ色を基調としたものに入れ替えました。地域貢献事業の「まちカフェ」もリニューアルしました。二〇周年記念事業の募金目標額は五百万円でしたが、最終的に二年前で一千四百万円を超える額となり、これらの記念事業を実現できました。

中長期計画ロードマップは二年目に入りました。新潟県の「県内私立大学の魅力創出・発信に向けた専門家派遣」に採択され、入試・広報活動に対する調査・分析が行われました。次年度に向けて改善方策を検討しています。

学生の就職は、文部科学省の補助金によるキャリア支援事業に基づき、学生データベースの活用やキャリアアドヴァイザーの採用等積極的な支援を行い、内定率九四・三%となりました。

大学財政について、当初予算の帰属収支差額は約一千万円の支出超過でしたが、決算では約一千万円収入超過となりました。

●二〇一〇年度決算

二〇周年記念事業やキャンパス整備・充実をほぼ計画どおり実施した上で、決算において収支を改善することができました。消費支出超過額は当初予算を一、八〇八万円下回る五、一七五万円となり、経営判断指標の帰属収支差額はプラスに転じ九五一万円となりました。これは、収入面では、二〇周年記念事業募金の目標超過による寄付金増加と、経常費補助金の昨年度並みの交付および学生支援推進プログラムの増額による補助金増加があったこと、

〈2010年度消費収支計算書及び2011年度同予算書〉

〈学校法人 敬和学園〉 (単位:円)				〈敬和学園大学〉 (単位:円)			
科 目	2010年度決算額	2011年度予算額	増 減	科 目	2010年度決算額	2011年度予算額	増 減
学生生徒等納付金	996,585,681	1,029,283,000	△ 32,697,319	学生生徒等納付金	666,856,500	684,980,000	△ 18,123,500
手数料	18,349,470	15,851,000	2,498,470	手数料	11,176,770	10,026,000	1,150,770
寄付金	49,271,951	41,816,000	7,455,951	寄付金	28,824,589	16,816,000	12,008,589
補助金	363,790,461	362,477,000	1,313,461	補助金	117,704,971	116,922,000	782,971
(国庫補助金)	(118,555,131)	(116,026,000)	(2,529,131)	(国庫補助金)	(116,755,131)	(116,026,000)	(729,131)
(地方公共団体補助金)	(245,235,330)	(246,451,000)	(△) 1,215,670)	(地方公共団体補助金)	(949,840)	(896,000)	(53,840)
資産運用収入	17,448,000	11,801,000	5,647,000	資産運用収入	15,213,262	9,827,000	5,386,262
資産売却差額	1,747,019	0	1,747,019	資産売却差額	1,578,000	0	1,578,000
事業収入	87,517,642	87,829,000	△ 311,358	事業収入	4,671,636	4,800,000	△ 128,364
雑収入	32,163,187	18,555,000	13,608,187	雑収入	5,278,563	4,480,000	798,563
帰属収入合計	1,566,873,411	1,567,612,000	△ 738,589	帰属収入合計	851,304,291	847,851,000	3,453,291
基本金組入額合計	△ 97,155,600	△ 104,240,000	7,084,400	基本金組入額合計	△ 61,273,013	△ 57,863,000	△ 3,410,013
消費収入の部合計	1,469,717,811	1,463,372,000	6,345,811	消費収入の部合計	790,031,278	789,988,000	43,278

消費支出の部 (単位:円)				消費支出の部 (単位:円)			
科 目	2010年度決算額	2011年度予算額	増 減	科 目	2010年度決算額	2011年度予算額	増 減
人件費	997,301,620	1,019,884,000	△ 22,582,380	人件費	501,234,082	532,901,000	△ 31,666,918
教育研究経費	371,798,209	383,257,000	△ 11,458,791	教育研究経費	247,436,932	259,203,000	△ 11,766,068
管理経費	178,323,544	172,919,000	5,404,544	管理経費	86,044,170	79,045,000	6,999,170
借入金等利息	8,211,434	7,005,000	1,206,434	借入金等利息	6,709,020	5,702,000	1,007,020
資産処分差額	2,456,413	1,000,000	1,456,413	資産処分差額	366,048	0	366,048
徴収不能引当金繰入額	92,140	0	92,140	徴収不能引当金繰入額	0	0	0
予備費	0	5,000,000	△ 5,000,000	予備費	0	5,000,000	△ 5,000,000
消費支出の部合計	1,558,183,360	1,589,065,000	△ 30,881,640	消費支出の部合計	841,790,252	881,851,000	△ 40,060,748
当年度消費支出超過額	△ 88,465,549	△ 125,693,000		当年度消費支出超過額	△ 51,758,974	△ 91,863,000	
前年度繰越消費支出超過額	△ 1,215,544,352	△ 1,304,888,445		前年度繰越消費支出超過額	570,654,489	514,049,489	
翌年度繰越消費支出超過額	△ 1,304,009,901	△ 1,430,581,445		翌年度繰越消費支出超過額	518,895,515	422,186,489	

支出面では、修繕関係予算の見直しおよび委員会等の予算厳守による支出抑制ができたことによります。また追加事業として、アーチエリレンジ建設工事一、三一〇万円を予算外で実施しましたが、募金により建設資金の約六割を確保し、建設工事が収支に与える影響は少なく済みました。

消費支出超過は三期連続ですが、情報公開や経営判定に使われる帰属収支差額が黒字となり、財政目標の第一段階を達成することができました。

●二〇一一年度当初予算
当初予算の消費支出超過額は、人件費増等の影響により九、一八六万円となり、帰属収支差額でもマイナス三、四〇〇万円となりました。主な理由は、退職給与引当金の計上基準引上げに伴い退職給与引当金繰入額および特別繰入額を一、八五四万円予算計上したためです。教職員数の増加でも一、三七五万円増加しています。

収入では、予算学生数の増加により学納金は増収となりますが、寄付金の減、受取利息配当金の減少による資産運用収入の減等により、前年度決算より帰属収入が減となりました。支出では、コンピュータ教室パソコン入替、学内LAN入替、図書館システム入替、証明書自動発行機入替といった設備の取替更新が集中しています。

予算は、帰属収支差額がマイナスという厳しい結果となりました。執行にあたっては収支改善できるよう経費節減に努めていきます。
(事務局)

(2010年度貸借対照表)

2011年3月31日現在

〈学校法人 敬和学園〉

(単位:円)

〈敬和学園大学〉

(単位:円)

科目	年度	科目	年度
	2010年度末		2010年度末
固定資産	4,236,227,473	固定負債	327,241,123
有形固定資産	3,566,792,979	長期借入金	245,104,302
土地	692,377,009	退職給与引当金	82,136,821
建物	2,300,425,824	流動負債	348,770,666
構築物	54,693,383	短期借入金	52,771,140
教育研究用機器備品	34,019,770	未払金	54,117,541
その他の機器備品	26,945,253	前受金	221,859,500
図書	438,458,009	修養会預り金	13,042,121
車輛	19,873,731	預り金	6,680,364
その他の固定資産	669,434,494	仮受金	300,000
電話加入権	1,878,040	負債の部合計	676,011,789
施設利用権	589,181	第1号基本金	6,911,934,092
有価証券	589,799,206	第4号基本金	120,000,000
長期貸付金	11,102,000	基本金の部合計	7,031,934,092
出資金	4,350,991	翌年度繰越消費支出超過額	△1,304,009,901
長期預け金	1,820,010	消費収支差額の部合計	△1,304,009,901
退職給与引当特定資産	49,950,000		
施設拡充引当特定資産	4,226,764		
ソフトウェア	5,718,302		
流動資産	2,167,708,507		
現金預金	1,281,352,186		
未収入金	30,747,889		
有価証券	853,286,470		
前払金	1,378,841		
立替金	902,934		
仮払金	40,187		
資産の部合計	6,403,935,980	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	6,403,935,980

科目	年度	科目	年度
	2010年度末		2010年度末
固定資産	2,688,247,540	固定負債	194,690,820
有形固定資産	2,160,583,143	長期借入金	166,600,000
土地	549,358,480	退職給与引当金	28,090,820
建物	1,204,088,797	流動負債	231,642,238
構築物	13,261,523	短期借入金	33,320,000
教育研究用機器備品	19,685,007	未払金	14,813,340
その他の機器備品	6,310,836	前受金	179,919,500
図書	367,677,926	預り金	3,289,398
車輛	200,574	仮受金	300,000
その他の固定資産	527,664,397	負債の部合計	426,333,058
電話加入権	1,104,984	第1号基本金	3,694,343,257
施設利用権	11	第4号基本金	64,000,000
有価証券	504,468,206	基本金の部合計	3,758,343,257
長期貸付金	11,102,000	翌年度繰越消費収入超過額	518,895,515
長期預け金	1,044,130	消費収支差額の部合計	518,895,515
施設拡充引当特定資産	4,226,764	内部部門勘定	△613,125,871
ソフトウェア	5,718,302		
流動資産	1,402,198,419		
現金預金	764,011,106		
未収入金	1,938,349		
有価証券	635,525,889		
前払金	170,338		
立替金	512,550		
仮払金	40,187		
資産の部合計	4,090,445,959	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	4,090,445,959

Gems in KEIWA

チャレンジ学生ファイル Vol.34

私が変わったきっかけ

国際文化学科 2年
佐藤 裕介



村上中等教育学校での活動

昨年の夏から、アドバイザーの藤本先生の紹介で、ゲームや劇などを交えながら子どもたちとワークショップを行う「国際交流インストラクター」の活動に参加しています。この活動を通して、私は大きく変わることができました。

活動を始める前は、人前に立つことが苦手な私にこのような活動ができるのか、不安でいっぱいでした。しかし、メンバーと共に練習を繰り返し、アドバイスをもらうことによって、不安を解消していくことができました。そして、子どもたちを前にしたワークショップでは、とても楽しむことができました。またある時、先輩が不在中にサブリーダーを任されました。私にはリーダーは無理だと思いましたが、この時も優しく協力的なメンバーに助けられて、なんとか仕事をやり遂げることができました。

一年間の活動を通して、多くのことを身につけることができました。しかし、ハプニングが起きた時にアドリブを使って対処することがまだまだできないなど課題はあります。これらの課題を今後の活動の中で身につけていきたいです。



敬和学園大学の最新情報

敬和学園大学

検索

www.keiwa-c.ac.jp

